

## 平成28年度外国人留学生在籍状況調査結果

平成28年度の外国人留学生在籍状況調査が、3月に（独）日本学生支援機構から公表された。専門学校に在籍する留学生は5万235人と前年度比で1万1,581人（30.0%増）となり、3年連続で増加した。

留学生全体では23万9,287人と同3万908人（14.8%）増となり、3年連続で増加した。留学生が最も多いのは大学（学部）で7万2,229人同4,757人（7.1%）増。次が日本語教育機関で6万8,165人同1万1,848人（21.0%）増。3番目が専門学校。以下、大学院4万3,478人同2,082人（5.0%）増、準備教育課程3,086人同479人（18.4%）増、短期大学1,530人同116人（8.2%）増、高等専門学校564人同45人（8.7%）増。

留学生を出身国（地域）別で見ると、中国が9万8,483人で全体の41.2%を占め、前年度比4,372人（0.4%）増、ベトナムが5万3,807人で同22.5%を占め、同1万4,925人（27.7%）増、ネパール1万9,471人同3,192人（16.4%）増、韓国1万5,457人同178人（1.1%）増、台湾8,330人同1,016人（12.2%）増、インドネシア4,630人同1,030人（22.2%）増、スリランカ3,976人同1,664人（41.8%）増、ミャンマー3,851人同1,096人（28.4%）増など。

政府目標である「2020年を目途に30万人の留学生受け入れを目指す」に対して、あと6万人必要であるが、法務省の2016年12月現在の「在留外国人統計」においては、在留資格「留学」は27万7,331人となっており、あと2万3千人となっている。この相違は、法務省の数字は日本語教育機関で10月生受け入れ留学生数がカウントされているためと考えられる（中国11万5,278人、ベトナム6万2,422人、ネパール2万2,967人、韓国1万5,438人、台湾9,537人、インドネシア5,607人、スリランカ5,597人、ミャンマー4,553人など）。